

雪氷写真館⁵⁵ 平成 18 年豪雪/Heavy snowfall disaster in the winter of 2005-2006



写真 1. 雪崩：町田建設提供



写真 2. 雪崩：上石勲撮影



写真 3. 雪荷重で軒先が折られた家屋：
十日町市撮影



写真 4. 十日町市中心部の路地：
竹内由香里撮影



写真 5. 雪の回廊となった歩道：
上村靖司撮影



写真 6. 雪崩でなぎ倒された電柱とデブリで埋まった県道：石坂雅昭撮影

平成 18 年豪雪

平成 18 年豪雪は全国で 152 人もの犠牲者、多くの家屋被害、雪崩による交通遮断、施設破損などを発生させた。本豪雪特集号本文では掲載されなかった関連写真をここに示す。豪雪の集中した新潟県中越地方で現場観測に奮闘された研究者に協力していただいた。

写真 1：2006 年 2 月 11 日，新潟県南魚沼市後山で発生した雪崩。県道大和焼野線が幅 40m に渡って埋まり，警察と消防が埋没車などの探索をしている。

写真 2：平成 17 年 12 月 24 日に福井県大野市で発生した面発生乾雪表層雪崩。人的被害は無かったが，国道 158 号にかかる橋梁が雪崩によって下流方向に 90 cm 移動し，約 2 週間通行止めとなった。

写真 3：新潟県内で雪による住家の全半壊は 3 棟であったが，非住家被害は 180 棟を数えた。急速な過疎化進展を受け，空き屋管理の問題も顕在化している。2006 年 3 月 2 日撮影。

写真 4：十日町市中心部の路地。やっと降り止んで久々に青空が見えた。（このあと再び降雪が続くことになる。）右手前は雪に埋もれた車。この日の積雪深は 221 cm（森林総合研究所十日町試験地，9 時の測定値）。2005 年 12 月 25 日撮影。

写真 5：20 年ぶりの豪雪となった津南町で，道路と歩道の上に大きな壁ができ，歩道が雪の回廊となった。2006 年 1 月 9 日撮影。

写真 6：2005 年 12 月 28 日，新潟県湯沢町土樽の荒沢山の上部で発生した雪崩は，写真左側から魚野川を越えて来襲し，右の関越自動車道直前で止まった。高架側面に付着した雪が見られる。雪崩の影響で停電と集落孤立も生じた。

佐藤篤司 会員（防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター）